

研究ノート | Research Note

小学校第2学年の体育科に関する児童の意識調査
——2学期と3学期の振り返りから——

Awareness Survey of Children Regarding Physical Education
in the Second Grade of Elementary School:
From the Review of the Second and Third Semesters

仲井 勝巳

NAKAI, Katsumi

尚美学園大学総合政策学部

Shobi University

2022年6月

June 2022

研究ノート

小学校第2学年の体育科に関する 児童の意識調査

——2学期と3学期の振り返りから——

仲井 勝巳

Research Note

Awareness Survey of Children Regarding Physical Education in the Second Grade of Elementary School: From the Review of the Second and Third Semesters

NAKAI, Katsumi

要 旨

本稿は、小学校第2学年の体育授業において、2学期と3学期に取得した児童のアンケートを新旧学習指導要領の観点から考察したものである。その結果、楽しく取り組むこと（意欲関心）、運動やゲームの仕方を考え工夫すること（思考表現）、運動やゲームの動きを身に付けること（技術）に関して、肯定的であることがわかった。また、児童の記述から体育に関して、活動の工夫、運動を楽しくできること、意欲的に運動に取り組むこと、各種の運動遊びを楽しくできること、そして、児童はボール運動について思考し意欲的に運動することがわかった。しかし、新旧学習指導要領の観点から整理されたが、学期末の児童の振り返りのみでは詳細な分析が難しいことが指摘される。毎回の授業の振り返りを考察することで、児童の体育に関する学びについて詳細な分析が期待される。本研究は、学期終了時の体育授業の振り返りに関しての事例的な調査の位置づけであるため、今後、毎授業の児童の学びに関する振り返りを含めて展開することが重要となる。また、アンケート結果の項目によって、体育に関して肯定的ではない意見が一定数いたことから、そのような児童に対して、個別最適化の課題に対応した指導も視野に入れていくことも大切であるといえる。

Abstract

In this study, children’s questionnaires were obtained in the second and third semesters of the physical education class in the second grade of elementary school, and they were organized from the viewpoint of the old and new curriculum guidelines. As a result, it was found that they were positive about engaging in fun (motivation and interest), thinking and devising ways of exercising and playing games (thinking expression), and acquiring movements of exercising and games (techniques). In addition, from the description of the child, it was found that regarding physical education, ingenuity of activities, fun of exercising, enthusiastic exercise, fun of various exercises, and children thinking about ball exercise and exercising enthusiastically. However, although it was organized from the perspective of the old and new curriculum guidelines, it is pointed out that detailed analysis is difficult only by looking back on the children at the end of the semester. By considering the reflection of each lesson, a detailed analysis of children's learning about physical education is expected. Since this research is positioned as a case study on the reflection of physical education classes at the end of the semester, it is important to develop case studies including the reflection on the learning of children in each class in the future. And since there were a certain number of non-positive opinions about physical education in the items of the questionnaire results, it can be said that it is also important to consider guidance corresponding to the issue of individual optimization.

キーワード

小学校低学年 (Lower Grades of Elementary School)
 体育科 (Physical Education)
 ボール運動 (Ball Movement)
 振り返り (Reflection)

1. はじめに

本稿は、小学校第2学年における体育の授業実践について、児童のアンケートをもとに、どのような教育的効果があったのかを考察することを目的としている。この事例研究を実施したのは、2014年度である。よって、この事例研究は、旧小学校学習指導要領（平成20年3月告示）の実施であるため、現行の小学校学習指導要領（平成29年3月告示）において整理し、今後どのように取り組むことが良いのかについて考察した。

1.1 旧小学校学習指導要領（平成20年3月告示）の体育に関して

旧学習指導要領（平成20年3月告示）体育の目標では、「心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。」とある。そして、体育科の運動領域に関する構成は、図1のとおりである。

学年	1 ・ 2	3 ・ 4	5 ・ 6
領 域	体 つ く り 運 動		
	器械・器具を使つての運動遊び	器 械 運 動	
	走・跳の運動遊び	走・跳の運動	陸 上 運 動
	水 遊 び	浮く・泳ぐ運動	水 泳
	ゲ ー ム		ボ ー ル 運 動
	表現リズム遊び	表 現 運 動	
		保 健	

図1. 旧学習指導要領の体育の運動領域に関する構成

第1学年及び第2学年の目標は、「(1) 簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け、体力を養う。(2) だれとでも仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てる。」とある。

1.2 新学習指導要領（平成29年3月告示）の体育に関して

新学習指導要領（平成29年3月告示）体育の目標は、「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。(2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。(3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。」とある。そして、体育科の運動領域に関する構成は、図2のとおりである。

学年	1・2	3・4	5・6
領 域	体づくりの運動遊び	体 っ く り 運 動	
	器械・器具を 使ったの運動遊び	器 械 運 動	
	走・跳の運動遊び	走・跳の運動	陸上運動
	水遊び	水 泳 運 動	
	ゲ ー ム		ボール運動
	表現リズム遊び	表 現 運 動	

図2. 新学習指導要領の体育の運動領域に関する構成

第1学年及び第2学年の目標は、「(1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。(2) 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。(3) 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。」とある。

図1および図2より、体育の運動領域に関する構成に関しては、大きく変わったことがないといえる。しかし、新学習指導要領の目標において、体育や保健の見方・考え方を働かせて、資質・能力を育成することが明記された。このような明記の仕方は、他教科とも類似しており、体育や保健の見方・考え方を働かせることの重要性が大きく取り入れられるようになった。

2. 方法

日本国内A小学校第2学年1クラス26名を対象に実施し、2014年7月（2学期）、2015年3月（3学期）にアンケート（5件法及び記述）を取得した。本研究は、A小学校の校長に倫理的配慮を説明し、許可を得て実施した。

本事例の体育に関する授業内容は、運動会に向けてダンス、かけっこ、また、ボール運動、遊具、体ほぐし（馬とび、鬼ごっこなど）を実施した。毎授業に関しては、体育ファイルを作成し、ボール運動等の資料を添付し、児童はそれらの資料を活用したり作戦を練ったり、次の課題

などを考えられるように、また、旧学習指導要領に則り指導した。特にボール運動では、学校体育研究同志会大阪支部豊能・三島ブロック（2013）の資料「球技アラカルト」のシュートボール、じゃまじゃまサッカーを参考にし、さらに、ポールサッカー、ボールとり、ドッジボールを取り入れて実践した。そして、ボール運動に着目し、アンケート内容も児童がボール運動に関して振り返りができるような項目を取り入れた。

特にボール運動の先行研究では、村上・梅村・高瀬・高橋・河本・中島（2021）がある。これは教職経験豊富な小学校教師の体育授業における児童へのかかわりにおいて、ボール運動單元における教師の発話および児童の振り返りに着目している。その研究から、教師は小学校第5学年の児童に單元を通して学習課題に関する発問を繰り返し行うことで児童の考えを言語化させてグループ活動を活性化させたり、單元途中で新たな課題を設けたりすることで学習を深めようとしていることが示された。これは高学年の設定であり、教師と児童との関わり的重要性を事例的に示していると捉えることができる。本事例では、毎回の授業振り返り等の記録は既に返却しており、教師と児童との関わりについての記録を取得していない。毎授業の振り返りに着目することはできないが、実施アンケートの項目で、学期終了時に体育の授業で良かったことを振り返られるように設定し、その観点から考察していくことにした。

3. 結果と考察

アンケート（5件法・記述）の結果を図3～図7に示し、考察していく。

3.1 アンケート結果（5件法）について

図3から、2学期の体育について、楽しく取り組むこと（意欲関心）、運動やゲームの仕方を考え工夫すること（思考表現）、運動やゲームの動きを身に付けること（技術）に関しては、概ね「よくした」「した」の該当者が多いことがわかった。これは、2学期に運動会も実施されたこともあり、児童は運動会に向けて、ダンスやかけっこなどの競技に意欲的に取り組むことができたのではないかと推測される。しかし、「どちらとも言えない」「しなかった」という項目の該当者も若干名いたことから、特に意欲関心、思考表現への自己評価が低い児童に対しての工夫が必要であると考えられる。

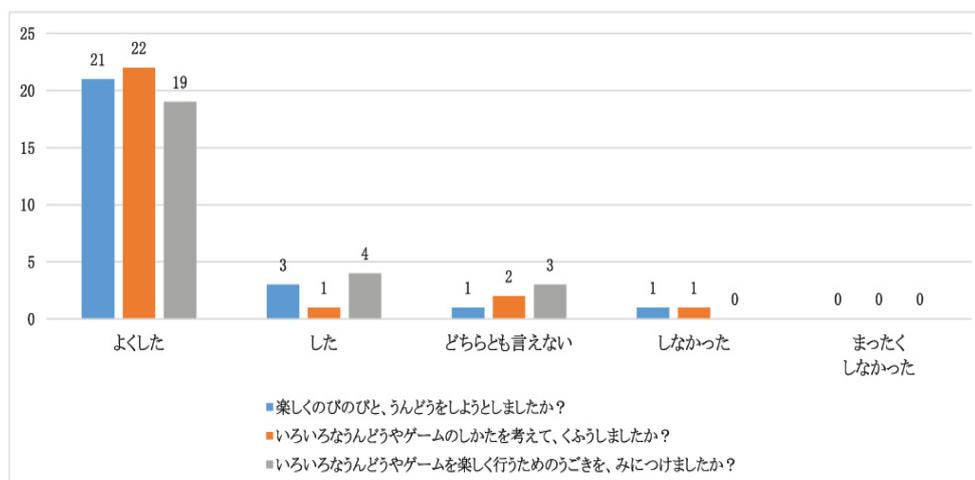


図3. 2学期の運動会、ボール運動、遊具、体ほぐし（馬とび、鬼ごっこなど）について

図4から、2学期のボール運動に関しては、「とても楽しかった」「楽しかった」の該当者が多い反面、一定数、「どちらとも言えない」「楽しくなかった」「まったく楽しくなかった」という該当者もいる。この中で、「じゃまじゃまサッカー」に関しては、「とても楽しかった」が最も多い。この結果は、普段、ボール運動が苦手な児童であっても、「攻め」と「守り」が分けられたボール運動の工夫がなされたことにより、本来のサッカー型の運動と比べ攻守が入り混じっている状況ではない学びであったことが要因となったのではないかと考えられる。そのため、「ボールサッカー」は、攻守が入り混じった中でのボール運動であるため、「じゃまじゃまサッカー」と比べ、「とても楽しかった」に関しての該当者が少なくなり、「楽しくなかった」という該当者があったのではないだろうか。「シュートボール」も攻守が分かれているが、班のメンバー構成によって、取り組み方が異なるといえる。「ボールとり」も「楽しく」取り組めた傾向がある。これは、ラグビー型のゲームである「攻め」と「守り」がフィールド内で分かれていたり、その切り替えがあったりして、運動の楽しさを感じることができる内容であったと推察される。そして、「ドッジボール」は「まったく楽しくなかった」という回答者がいた。これは、おそらく「投げる」や「受ける」ことに対して、苦手意識が強いのではないかと考えられる。また、ゲームをする上で、ただ避けるだけになるために楽しさを感じることができなかったのではないだろうか。指導の上では、児童には、それぞれの実施内容の指導計画で、必ずボールに慣れる場面を取り入れている。例えば、ボールを「投げる」「受ける」「蹴る」といった個々の能力を高められる場面を入れることで、ゲームに参加しやすいようにしている。その段階での工夫も必要だと考えられる。

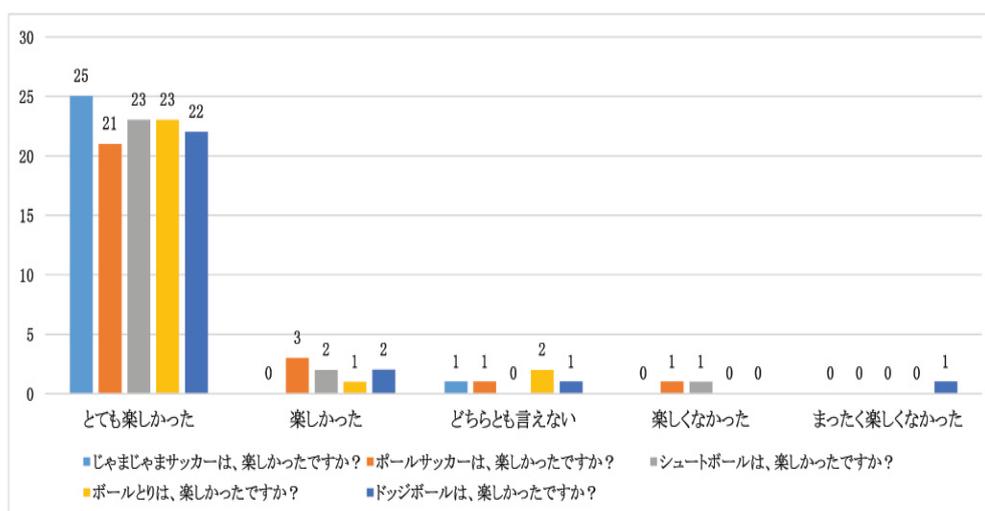


図4. 2学期のボール運動について

図5より、3学期の体育について、楽しく取り組むこと（意欲関心）、運動やゲームの仕方を考え工夫すること（思考表現）、運動やゲームの動きを身に付けること（技術）に関しては、概ね「よくした」「した」の該当者が、2学期と比べても多いことがわかった。しかし、「どちらとも言えない」という項目も若干名いたが、「しなかった」「まったくしなかった」という該当者はいないことがわかった。これは、2学期に比べ、3学期の運動に慣れてきたのではないかと推測される。

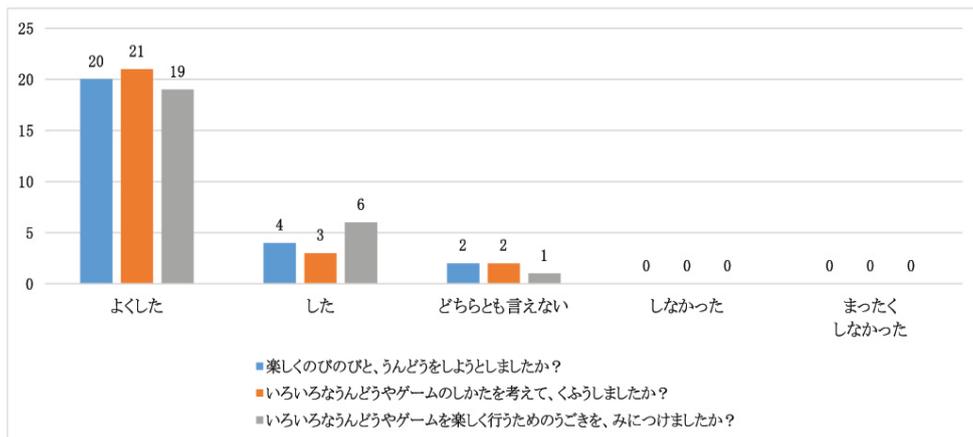


図5. 3学期のボール運動、遊具、体ほぐし（馬とび、鬼ごっこなど）について

図6から、3学期のボール運動に関しては、「ボールとり」は「とても楽しかった」「楽しかった」の回答となった。また、「ドッジボール」は「とても楽しかった」「楽しかった」の回答が多く、「どちらとも言えない」の回答が若干あった。これは、2学期から3学期にかけて、児童はボール運動に慣れてきたため、「楽しくなかった」「まったく楽しくなかった」の項目が該当しなかったのではないかと考えられる。しかし、3学期は、2学期と比べ授業時間数が少ない設定であったため、2学期のように多くの内容のボール運動の実施ができなかったことも指摘できる。そのため、短い授業時間数の中で集中して取り組むことができたのではないかと推測される。

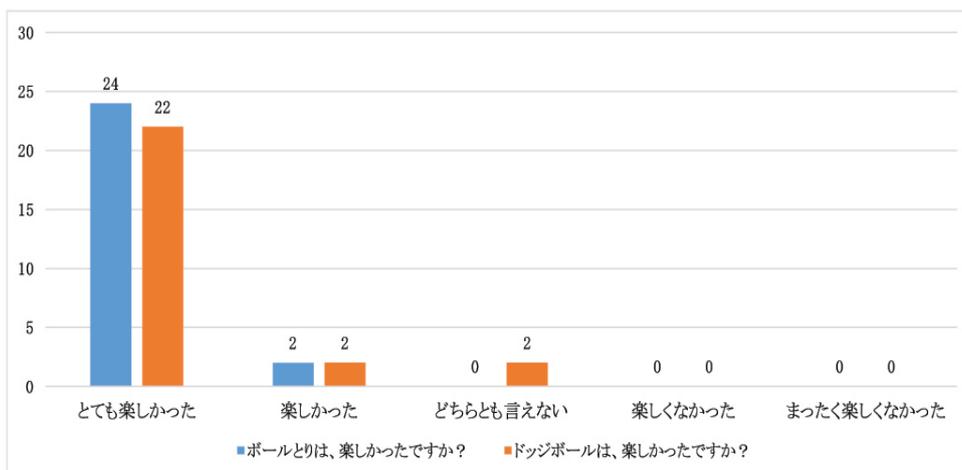


図6. 3学期のボール運動について

3.2 アンケート結果（記述）について

図7から、2学期と3学期の自由記述の振り返りから、ボール運動やゲーム内容の記述が確認された。2学期に関しては、「サッカーが上手になること」「走りがはやくなった」「楽しかった」「苦手なゲームが得意になる」「頭をつかうのが良かった」などと振り返っており、意欲関心の向上、技術の向上に関して深めることができたのではないかと考えられる。また、3学期についても「二重跳びができたこと」「体力がついた」「ボールをけるのが上手になった」「楽しかった」「できなかったことができるようになった。」などと振り返っており、意欲関心や技術の向上や達成感を味わうことができたのではないかと推測される。

2学期 (16名)	3学期 (16名)
・サッカーとかをじょうずにできることがよかった。	・体がうごかせること。
・うごきもはやくなるし、にがてなゲームもとくになるからよかったと思いました。	・二じゅうとびができるようになった。
・なわとび。	・体力がついたからよかったです。
・おにごっこ。	・ならびっこでボールをけるのが、じょうずになってよかったです。
・ボールとり、ドッジボール、じゃまじゃまサッカー、ボールサッカーはすごくたのしかったです。	・うごくのが楽しくしてくれたのがよかった。
・ボールとりは、はじめて知ってすきになってよかった。	・ボールとりやならびっこがすごく楽しかった。
・うまくできた。	・とてもうんどうできた！
・ボールとりとかであたまをつかうのがよかった。	・うごきがとてもみについて、考えてうごけたのがよかった。（ボールとりなど。）
・はしりがはやくなった。	・走るのがはやくなった。できなかったのができるようになった。
・すごくうんどうできた。	・ボールうんどうがよかったです。
・なわとび。うまとび。	・うんどうしたこと。
・じゃまじゃまサッカーがたのしかった。	・ボールうんどうで、よくボールをつかめたりするようになりました。
・とてもたのしくてボールあそびをして、たのしかったです。	・ボールのなげるちからがつきました。
・じゃまじゃまサッカーでうまくしゅーとがよかったです。	・ならびっこは、あいているところにけるれんしゅうができた。
・ドッジボールであたらなかったのがよかった。	・いろいろなことをやってよかった。
・たいくがたのしかった。	・たいくはたのしかった。

図7. 体育の授業で良かったと思うことに関する振り返り記述

4. 総合考察とまとめ

本研究は、小学校第2学年の体育科における2学期と3学期の児童の振り返りに着目したものである。その上で、旧学習指導要領の目標にある「運動に親しむ資質や能力の基礎」を培うことや「体力の向上」に関して、学期ごとの児童の振り返りから目標に向かうことができたことがうかがえる。そして、「楽しく明るい生活を営む態度を育てる。」に関しては、児童は体育の授業時間だけでなく、休み時間に運動場に出てドッジボールや鬼ごっこ等の遊びもされていたことから、そのような態度を育まれることも推察した。また、第1学年及び第2学年の目標は、「(1) 簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け、体力を養う。(2) だれとでも仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てる。」とあり、児童のアンケート結果（5件法）や振り返りの記述結果から、活動の工夫、運動を楽しくできること、意欲的に運動に取り組むことが確認され、概ね肯定的に達成されたと思われる。

さて、新学習指導要領の目標では、「体育や保健の見方・考え方を働かせ、…〈省略〉資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」とある。さらに、第1学年及び第2学年の目標は「(1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるように

する。(2) 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。(3) 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。」とあり、それらの観点から考察していく。(1)～(3)に関しては、児童のアンケート結果(5件法)から、概ね肯定的に達成されたと思われる。振り返り記述からも、各種の運動遊びを楽しくできること、「ボールとりとかであたまをつかうのがよかった。」という記述から、児童はボール運動について思考し、意欲的に運動することが読み取れ、新学習指導要領の目標において部分的に達成されていることが推測される。

本研究の限界として、新旧学習指導要領の観点からアンケート(5件法)や振り返り記述に関して考察したが、学期末の児童の振り返りのみでは詳細なことまで考察できないと指摘される。毎授業に関しては、体育ファイルを作成しボール運動等の資料を添付し、児童はそれらの資料を活用したり作戦を練ったり、次の課題などを考えられるように指導したことから、それらの資料からも十分に考察することができるだろう。しかし、児童の毎授業の振り返りに関する体育ファイルなどの資料は既に返却しているため、その考察は大変厳しい。よって、今後の展望として、毎授業の児童の学びに関する振り返りの観点を含めて事例的な研究を展開することが重要となるだろう。また、村上ら(2021)が小学校教師の体育授業における児童への関わりにおいて、学習課題に関する発問、児童の考えをグループ化し活動を活性化するなどの工夫もあることから、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の授業工夫も必要とされるだろう。本研究では、教師と児童との関わり、児童同士の関わり具体性を見出すことで、学習の深まりがより期待できると考えられる。また、児童一人ひとりが考える場面、友達とボール運動の際に作戦を立てる場面等を設定していたが、カリキュラム、関わり合いの工夫、教師の発問などを明らかにする必要があるだろう。さらに、アンケート結果の項目によって、体育に関して肯定的な意見ではない児童が一定数いたことから、個別最適化の課題に対応した指導も視野に入れていくことも大切であるといえる。本研究は、2学期と3学期の児童の振り返りに着目した上での考察であり、各学期の体育授業の概観について新旧学習指導要領の観点から整理したことは、今後の事例研究の一助になれば幸いである。

引用・参考文献

- 学校体育研究同志会大阪支部豊能・三島ブロック(2013)「球技アラカルト」, 1-13.
- 村上雅之・梅村拓未・高瀬淳也・高橋正年・河本岳哉・中島寿宏(2021)「教職経験豊富な小学校教師の体育授業における子供へのかかわりに関する研究: ボール運動单元における教師の発話および子供の振り返りに着目して」『北海道教育大学紀要. 教育科学編』71(2), 295-302.
- 村瀬浩二・古田祥子(2021)「勤勉性と運動有能感の因果関係の検討: 小学校ボール運動单元を対象として」『和歌山大学教育学部紀要. 教育科学』71, 1-9.

引用・参考WEB

- 文部科学省(2007)「小学校学習指導要領(平成20年3月告示)」(2022年3月4日確認)
<https://erid.nier.go.jp/files/COFS/h19e/index.htm>
- 文部科学省(2016)「小学校学習指導要領(平成29年3月告示)」(2022年3月4日確認)
<https://erid.nier.go.jp/files/COFS/h29e/index.htm>